



「遊び」のすすめ

部長 勝木 茂

陽が出ている時間帯に比べ、朝夕は寒さを感じる日も増えてきました。南東の夜空には、冬の大三角が見える季節となりました。

11月は穏やかな天気の日が多く、新型コロナウイルスの感染状況が改善傾向にあることもあり（まだまだ油断は禁物です）、中休みや昼休みには、元気いっぱいグラウンドで遊ぶ子どもたちの姿をたくさん見ることができました。

「遊び」は、子どもたちの成長に欠かせない大切なものです。特に、みんなと一緒に遊びは、多くのことを学ぶ機会となります。個人差はありますが、子どもの発達過程において、一人で遊んでいるときよりも、みんなと一緒に遊んでいるときの方が「楽しい」という満足感や充実感は経験を重ねながら大きくなっていきます。また、外遊びは、全身を使う動きが多く含まれるため、運動機能や体力の向上が期待できます。

みんなと一緒に遊ぶということは、楽しいことばかりではありません。時には、一緒に遊んでいる友だちと上手くいかずトラブルとなることもあります。もちろん、いじめや暴力行為に対しては、教師や保護者など責任ある大人が毅然とした指導をすることが不可欠ですが、自分の思いだけを通そうとしても上手くいかないことや、相手の気持ちを慮って折り合いをつけるにはどうしたらよいかを体験的に学ぶ貴重な機会ともなります。



11月29日（月）から一週間、初の試みとして「ハッピーウイーク」を実施します。

この一週間だけは、午前の4時間の授業時間を45分から40分とし、その分（5分×4＝20分）中休みを延長しようというものです。ですから中休みは40分間となります。延長するだけではなく、6年生が低学年をはじめ、いろいろな学年が楽しめるような企画を考えてくれています。今年度もコロナ禍の影響で、遠足や宿泊体験活動等が中止となりました。子どもたちにとって、学校生活は楽しく充実したものでなければなりません。この「ハッピーウイーク」が少しでも学校生活に良い影響を与えてくれればと願っています。



11月4日（木）から6日（土）まで2泊3日の日程で修学旅行を実施しました。年度当初は6月に実施予定でしたが、コロナ禍の中、11月に延期し、緊急事態宣言が解除されたことをはじめ、宿泊施設や見学（体験）施設、バス会社等との調整が何とか間に合い、実施に至ったものです。今年は、新幹線は使わず、全行程バスによる移動といたしました。修学旅行での様子の一部については、初等部ホームページにも掲載しておりますので、お時間があれば見ていただければと思います。帰りのバスの中、子どもたちの中には、「先生、渋滞していない」「先生、渋滞しないかな」「その方が少しでも修学旅行が長くなる」「みんなと一緒に楽しい時間が長くなる」といった声が聞こえてきました。とても思い出深い修学旅行となりました。

（バスはほぼ予定通り学校に到着しました）